

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年5月22日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 29
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～4校合同特別支援教育講演会～

先週の5月15日（木）に畝刈小学校の学校医の先生に講師としてお越しいただき、「子供の発達に寄り添う」～発達障がいの臨床から～と題して、講演していただきました。

4校のみならず他の学校からも参加者がおり、教師、保護者、外部機関を合わせて84名の参加がありました。ありがとうございました。

本校は「特別支援教育の視点」「人権教育の視点」に基づき、子供たち一人一人の個性や特性を認め、個に寄り添い個を伸ばす子供が主役の「子供ど真ん中教育」を力強く推進しています。今回いただいたお話は、これから子供たちとどう向き合い、成長を支えていくのか、保護者の皆さんや外部機関の皆さんとともに考え、連携をしていくうえでも、とても良い学びの機会となりました。

今回の講演では、

「発達障がいとは、障害なのか特性なのか」

「発達を診る時に考えること」

「医療的診断について」

「こどもの発達に寄り添う上でのヒント」

について、専門的な立場からお話をしていただきました。



すべての子供たちの将来の幸せのためにも、私たち周囲の大人が今できることを全力で行ってまいりましょう。

畝刈小学校は

「子供ど真ん中教育」

～豊かな心を持ち、自ら考え行動する児童の育成～ を目指しています。